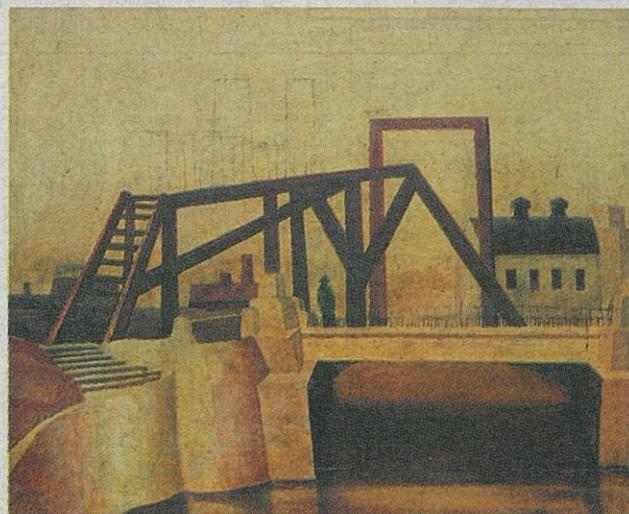


文化・芸術

「Y市の橋」

1944年ころ、油彩・カンバス
65×80.5cm(個人蔵)



松本竣介 (1902~95年)

Y市とは、横浜市でいる黒い人影が描かれています。松本竣介は、生まれています。横浜小さな手製のスケッチの街で見つけた鉄骨と帳を手に、自宅のある下落合から、時には横浜まで足を延ばしつつ、ケッチしていました。本作は、横浜駅の近くを流れる新田間川(あらたまがわ)に架かる月見橋(つきみばし)を描いたものです。竣介は繰り返しこのモチーフを描き、本作と同じタイトルの作品が多数残されています。

橋の向こう側には、鉄道の線路をまたぐ跨線橋が描かれ、その鉄骨が複雑に入り組んだ隙間に、橋の上に立つ

(池田)

大川美術館特集展示から

名画の扉